

第26回 さしがや保育園アスベスト健康対策等専門委員会 会議録

- 1 日時 平成23年10月21日(金) 午後7時～午後7時45分
- 2 場所 サークル室(文京シビックセンター12階)
- 3 出席者 専門委員会委員 安達修一委員長、薄田康広委員長職務代理、平野敏夫委員、樋野興夫委員、塩見和委員、清水朋子委員、西田隆重委員、黒田健夫委員
専門委員会幹事 佐藤男女協働子育て支援部長、宮本保健衛生部長、三縄資源環境部長、高橋施設管理部長
区職員 辻保育課長、石原保健衛生部参事予防対策課長事務取扱、海老澤環境政策課長、鶴沼施設管理課長、太田保育係長、大澤主事、小平主事

4 配付資料

資料第1号「心理相談・健康リスク相談の開催状況等について」
資料第2号「平成23年度胸部X線写真の読影・保管事業結果報告」
資料第3号「真砂中央図書館所蔵アスベストコーナー図書一覧」
資料第4号「文京区立さしがや保育園アスベスト健康対策等専門委員会第3期(平成22～23年度)委員一覧」
文京区立さしがや保育園アスベスト健康対策等専門委員会設置要綱
「石綿対策せず解体(7月22日付神奈川新聞の切り抜き)」(西田委員より提供)
第2回「次世代の環境発がんを考える会」市民公開シンポジウムの案内(樋野委員より提供)

5 会議進行

(1) 心理相談・健康リスク相談の開催状況等について(報告)

保育課長 (資料第1号参照) 園児・保護者向けの心理相談・健康リスク相談については、平成23年度は、実施回数1回、心理相談1組、健康リスク相談2組の実績があった。職員向け相談については、23年度は実績がない。健康手帳の配布状況と協定の締結状況は、前回から変更はない。

委員長 ご担当された先生方から何かあれば、お願いしたい。

委員 2組あったが、1組は、お子さんも一緒に来られた。高校生になっていて、親からいろいろと話は聞いていると思うが、本人がわかる年頃なので、これから何を気をつけたらいいのか、尋ねられた。当然だが、禁煙の問題とかのお話しをした。今後、ご本人がだんだんわかるようになってきて、不安感を持たれるようになるので、ご本人に対するお話しもこれから必要になる、と改めて思った。

委員 思春期にさしかかってきて、本来の思春期の課題と、アスベストの問題を家族がどう捉えたらいいのか、だんだんと皆さん気になってきていると感じた。

委員 禁煙が必要ですよという話をすると、私は吸わないが、喫茶店で友達が吸っている時にどうしたらいいのか、といった答えに困るような質問もあった。これから、いろいろなお話しが必要になってくるのかなと思った。

委員長 件数的には、少なめになってきているが、切れるということはなさそうなので、今後引き続き呼びかけていくように。

(2) 高校入学時胸部X線写真の読影・保管事業の実施結果について

保育課長 (資料第2号参照) 5月14日に、保護者向けの説明会を開催したが、昨年と同じく出席者はいなかった。5月16日に元園児、6月17日に元職員に通知書を送付した。元園児については、対象者20名中、所在不明の外国の方を除く19名に、元職員については、対象者39名に通知した。7月29日までの提出期限に、元園児については5名、元職員については6名、計11名の方から申請があった。ただし、昨年度、期限後に提出があった元園児の方1名については、今年度読影を行ったので、今回実際に読影を行った元園児は、6名である。8月23日に読影部会を開催し、8月30日に結果の通知を行った。読影の結果は、元園児については、アスベスト関連については、全員異常なしだったが、側わんととの所見が1名あった。

元職員については、アスベスト関連について全員異常なしだったが、大動脈石灰化との所見が2名あった。提出されたX線写真は、全て保育課で保管している。

委員長 20名中6名ということなので、コンスタントに今後も続いていくと思われる。読影を担当された先生方から何かありますか？来年に向けての注意事項とか、ありますか？

委員 基本的には、問題なかったと思う。

委員長 では、来年も引き続き同じようにやっていただくことで、よろしいか。

(3) アスベスト文献の購入について

委員長 前回の専門委員会で提案のあったアスベスト文献の購入と図書館へのコーナーの設置について、事務局から説明してほしい。

保育課長 文京区立の真砂中央図書館の方に、書架を設置して、アスベスト・コーナーを設けて、区内のそれぞれの図書館から関連図書を集めた。現在、こちらの書架には、資料第3号のとおり、24冊を配架している。本年度、保育課の専門委員会予算として、図書購入費を2万円取ってあるが、まだ執行していない。できれば、最近出たものとか、区民にお知らせするのに適当なものとかを、私どもの方にお知らせいただければ、予算の範囲内で購入して、このコーナーに置くようにしたい。

委員長 クボタ・ショックがあって、かなり出版も増えたが、山を越したのかなという感じである。貸出しがすぐに増えるというものでもないが、蔵書しておくことで、何かのときに対応できるという目的である。先生方からも、推薦をお願いしたい。

委員 最近出た岩波新書を推薦する。大島秀利さんという毎日新聞の記者の方が書かれた「アスベスト 広がる被害」というタイトルである。この方は、クボタ・ショック以前からかなり取材をされていて、本当にわかりやすく書かれている。

保育課長 ほかに、もしあれば、予算執行上の期限もあるので、できれば12月上旬くらいまでに、情報をいただければ、購入していきたいと思う。

委員長 ということで、予算がついているので、なるべく執行した方がよいと思われるので、推薦をお願いしたい。

(4) 専門委員会ニュースの発行について

保育課長 毎年1回、専門委員会のニュースを出していただいている。今年も、年末が近づいてきているので、またニュースの発行をお願いしたい。ニュースに載せる題材として必要なことがあれば、事務局にご相談いただければ、と思う。

委員長 制作の方は、委員にやっていただいて、発送の方は、事務局でやるのか？

保育課長 そうである。

委員長 戻って来るとかいうことはないのか？

保育課長 それはない。ホームページでも公開している。

委員長 ホームページを見ると、だいぶPDFのアイコンが、ずらっと溜まっている。年数を感じる。

保育課長 ずっと溜めておく方がよいのか？

委員長 整理がつかない程見にくくはないが、かなり溜まったなと感じる。どういう情報がどこにあるのか、見慣れた者からするとわかるが、たまたま文京区のホームページに来たようなときには、見出しのようなものがあるとよいかかと、ちょっと思う。

保育課長 ホームページについては、他でも見にくいとかいう話がある。適宜見直しをしていきたい。

委員長 まだ到着していない委員がいるので、先にその他の議題を扱う。

(5) その他について

(ア) 検討委員会報告書からの引用について

保育課長 本年9月22日付けで、JFEテクノリサーチというところから、国土交通省の「建築物石綿含有建材調査者育成プログラム」を作るに際して、検討委員会報告書の中の「作業終了時の床清掃作業のアスベスト濃度の経時変化」という図表を引用させてほしい依頼があった。委員の皆様にお諮りする時間がなかったの
で、委員長と相談して、特段問題はなかろうということで、引用を承諾した。
委員長 掲載に当たっては、引用元をきちんと表示するというので、問題ないと思う。
国交省も、片付けに苦慮していて、マンパワーをつくっていかねばいけない、
というところの資料に使われるということなので、非常に貴重な材料かと思う。
保育課長 10月6日付けで、「利用に際し、出所（出典）を明記すること」という条件
で利用を承諾した。

(イ) 石綿飛散事故に関する情報提供について

保育課長 西田委員から、神奈川新聞の記事「石綿対策せず解体」を情報提供いただいた
ので、机上配布する。コメントをお願いしたい。

西田委員 7月22日の神奈川新聞の記事だが、実際に事故が起きたのは、5月26日・
27日である。ずさんな工事による石綿の飛散が、後を絶たない。さしがやの場
合は吹付けアスベストの飛散であったが、さすがに飛散性の高い吹付けアスベ
ストについては、今はこういう事故はない。今回は、学校の旧校舎の煙突に石綿が
含まれていたが、事前調査をせず解体してしまった。新校舎で授業をしている
最中に、旧校舎を解体して、石綿を飛散させてしまった。途中で発覚して、工事
は中止したが、かなりの量の石綿が飛散したのではないかとされている。カポ
スタックという商品名だが、石綿障害予防規則及び大気汚染防止法の届出義務の
ある建材であり、法違反を犯して、ずさんな解体工事が進められた。さらに、問
題なのは、中止するまでのコンクリートがらが全てリサイクルされて、道路等に
使われる路盤材の中に石綿が混入されたことである。さしがやから10年以上
経って、このようなずさんな事故が起こるのは、非常に残念である。さしがやの
教訓に学びながら、このような事故が起きないように対策を取っていく必要があ
るということで、今、私どもが取り組んでいるので、是非皆様方にも注目してい
ただきたい。

委員長 学校に使われているアスベストについては、文科省が何度も調査しているが、
調査のたびに増えていく。それでも、まだ見つからないというか、特に、教室以
外の設備になると難しい面がある。続報は、まだか？

西田委員 これから、綾瀬市の市議員に会うことになっている。原因の究明と対策を
しっかりさせて、できれば、このような検討委員会のようなものができて、飛散
についてシミュレーションすることも必要ではないかと思う。

委員長 カポスタックというのは、煙突に使われているのか？

西田委員 そうである。業者としては、周知の事実であり、何故この業者が見逃したのか、
不可解である。

委員 我々の間では、煙突の中にアスベストが使われていることは、よく知られてい
るが、一般にはあまり知られていない。前委員の名取さんと東京労働安全衛生セ
ンターの外山さんが、1年くらい前から、あちこちに行って、もう使われていな
い煙突で火を焚いて、どれくらい飛散するのか測定した結果を、5月の産業衛生
学会で発表している。結構、出ているので、ましてや、解体したら、相当飛散す
るのは間違いない。煙突は、まだ、風呂屋の煙突とか残っていて、結構解体など
があるので、注意しなくてはならない。

委員長 吹付けについては、かなり周知されて、文科省も補助金を出して、除去してい
るが、それ以外のところでは、結局、最終的な処分の問題が、あまりにも膨大す
ぎて国交省でもどうしようもない。どこに持って行って、どうするかというところ
が、放射性物質と同じような性質がある。理論上は、1000℃で焼くとか技術
的な方法はあるが、1%入っているものまで全て処理するのは、非現実的であ

る。どうすべきか、なかなか難しい。

(ウ) シンポジウムについて

保育課長 樋野委員から、11月26日のシンポジウムについて、情報提供いただいているので、机上配布する。このシンポジウムには、委員長の安達先生や樋野先生のお名前もある。先程、紹介した真砂中央図書館のコーナーに、この案内を出していくことも可能かと思う。

委員長 主催されている樋野先生の方から、願います。

樋野委員 「次世代の環境発がんを考える会」は、昨年立ち上がって、今年は2回目だが、アスベストと放射線を考えてみようということになった。「治療モニタリングバイオマーカー」、「アスベスト・中皮腫健診」、それから基礎的な研究ということで国立がん研究センターの三好先生と安達先生に語ってもらう。後は、チェルノブイリのがんについて、「放射線の健康影響を巡る科学者の社会的責任」についての特別講演をやっていただく。よろしく、願います。

委員長 これは、真砂中央図書館の方に出すということで、願います。ちょっと専門的な部分もあるかもしれないが、入場無料・先着順ということである。

(6) 来年度委員の改選について

保育課長 (資料第4号参照) 専門委員会は、設置要綱に従って運営されている。構成については、第3条により、「専門委員会は、次に掲げる者のうちから、区長が委嘱する委員11人以内をもって組織する。」とされており、現在10人の委員により構成されている。第4条で、委員の任期について、2年とし、1回に限り再任されることができる、となっている。それで、資料第4号の表のとおり、樋野委員、塩見委員、薄田委員、森委員、及び保護者委員(黒田委員・長松委員)については、2期やっていただいているので、今期限りとなる。

文京区医師会及び小石川医師会については、区の方から、推薦の依頼をしていくことで対応したい。樋野委員、塩見委員及び保護者委員については、後任の方をご推薦願いたい。

次回の委員会で、新しい委員の名前を資料として提供する予定なので、1月頃開催予定となっている次回の開催までに、ご推薦をいただきたい。

委員長 難しいかもしれないが、次回の開催日について、ご検討いただければ、と思う。では、医師会の関係については、事務局の方から推薦依頼をするということで、樋野委員、塩見委員、黒田委員、長松委員については、それぞれ後任をご推薦いただくということで、よろしく願います。会議は、いつも夜なので、あまり遠い方は大変と思う。アスベストに造詣の深い先生ということで。

保護者委員については、推薦の体制はどうか？

委員 たぶん大丈夫と思う。

委員長 1月の開催日程については、どうか？この場で決めるのは難しいと思う。事務局から、いくつか候補を出して、メールで当たっていただいた方がよいかと思う。

保育課長 事務局から、予定日の一覧を入れて、皆様のご都合を伺うことにする。

委員長 ダメだとわかっている曜日が、もしあれば？

委員 火曜日がダメである。

委員 木曜日がダメである。

委員 1月27日が、ダメである。

委員長 だいぶ、絞られたのでは。

保育課長 では、その辺をはずして、皆様にメールでご案内する。

委員長 本日の議題は、全て終了した。

保育課長 次回の開催については、メールでご案内する。次の委員をご推薦いただく方については、1月の中旬を目途に事務局にご連絡いただきたい。

本日は、ありがとうございました。